

小学生新聞

芸術の春が来た 別刷り特集

一枚の絵にはたくさんの
秘密がかかれています。描
かれた人物にも、それ
ぞれ意味がありま
す。さあ、絵の謎
解きを試してみ
ましょう。

ボッティチェリとルネサンス

フィレンツェの富と美

Money and Beauty Botticelli and the Renaissance in Florence

2015.3.21(土) - 6.28(日)

4.13(月)、4.20(月)のみ休館

Bunkamura ザ・ミュージアム

15

世紀のイタリア・フィレンツェには、富(お金)と美(芸術)が集まっていました。ルネサンス初期の画家ボッティチェリは、金融業で資産を築いたメディチ家の援助を受けながら、数多くの作品を手がけました。Bunkamura ザ・ミュージアム(東京都渋谷区)の「ボッティチェリとルネサンス フィレンツェの富と美」展には、イタリア、アメリカ、フランスの美術館から貴重なボッティチェリ作品十数点が展示されます。

【文・大熊真里子 レイアウト・須藤知子】

絵の中に秘密がいっぱい!

この絵はルネサンス初期の画家ボッティチェリが描いた「ケルビムを伴う聖母子」です。聖母子の周りにいっぱい描かれているのはケルビム(智天使)。知識をつかさどる天使で、神の玉座や聖なる場所などを守っているんだよ。でもいっぱい描いているね……。

サンドロ・ボッティチェリ
「ケルビムを伴う聖母子」(部分)
1470年ごろ
120×66センチ
フィレンツェ、ウフィツィ美術館

© Gabinetto Fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze

■ボッティチェリって? — ボッティチェリは本名ではありません。本名はアレサンドロ・ディ・マリアーノ・フィリペーピ。イタリア語でボッティは「樽」、チェリは「小さい」という意味です。お兄さんが太っていて、その弟だ

小さな樽

から「小さな樽」というニックネームがつき、ずっとそのまま呼ばれることになったと言われます。「ラーマ家の東方三博士の礼拝」という作品にボッティチェリが自画像を描き入れているんですよ。

■ルネサンスの時代 — ルネサンスとは、復活や再生を意味します。14世紀のフィレンツェで、古代ローマの復興運動が起こりました。この時代のイタリアの芸術家に「最後の晩餐」や「モナリザ」を描いたレオナルド・ダビンチや「ダビデ像」の彫刻や数々の名画を描いたミケランジェロがいます。

あの芸術家も!

ローマ法皇が住むバチカン宮殿(バチカン市国)にあるシスティーナ礼拝堂の天井画や祭壇画をミケランジェロ(1475~1564年)が描き、側面の壁画の一部をボッティチェリが描いています。また、時期は別ですが、ダビンチ(1452~1519年)もボッティチェリと同じペロッキオ工房にいました。

絵の中に かくされた 謎

宗教画は、宗教に関連した人物や事柄を題材に描かれたもの。キリスト教では、聖書に基づいた場面が多いんだよ。当時は字が読めない人が多くて、聖書は聞いて覚えていた。絵を見てお話が分かるように工夫されていたんだね。



門外不出の傑作！
5月6日まで
限定公開

読み解いて
みよう！

宗教画には
「おやくそく」がある

★**光輪**は聖なる者の
あかしであ〜る

頭の上に光の輪があるのは、
マリア、イエス、天使、聖人な
どの「聖なる者」なのだ！



★人物を示す持ち物 **アトリビュート**

持ち物で誰なのかが分かるようになっているんだ！

赤い服に青い上着

毛皮の衣に十字架



マリア

洗礼者聖ヨハネ

サンドロ・ボッティチェリ「聖母子と洗礼者聖ヨハネ」、1477~1480年ごろ、
直径96.5センチ、ピアチェンツァ市立博物館
© Musei civici di Palazzo Farnese - foto Carlo Pagani

© Gabinetto Fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze



フラ・アンジェリコ
「聖母マリアの結婚」
1432~1435年
19×51.5センチ
フィレンツェ、サン・マルコ
博物館

花婿のヨセフが花嫁のマリアに指輪をはめているね。当時の結婚式は、新婦の家で友人や親戚の立ち会いで行われていた。結婚式とは思えないほど地味な服装なのは、ローマ法王庁からたびたび、ぜいたく禁止令が出されていたからなんだ。その影響が絵に出たんだね。

マリリア結婚！
身ももったマリアは
年離れたヨセフと結婚

サンドロ・ボッティチェリ
「受胎告知」
1500~1505年ごろ
直径86.3センチ
個人蔵

左に描かれている曲がりくねった道には、魚を持ったトビアスが大きな翼を持った大天使ラファエルと手をつないで歩いているんだよ。この絵には「受胎告知」と「大天使ラファエルとトビアス」の二つのテーマが描かれているんだね。

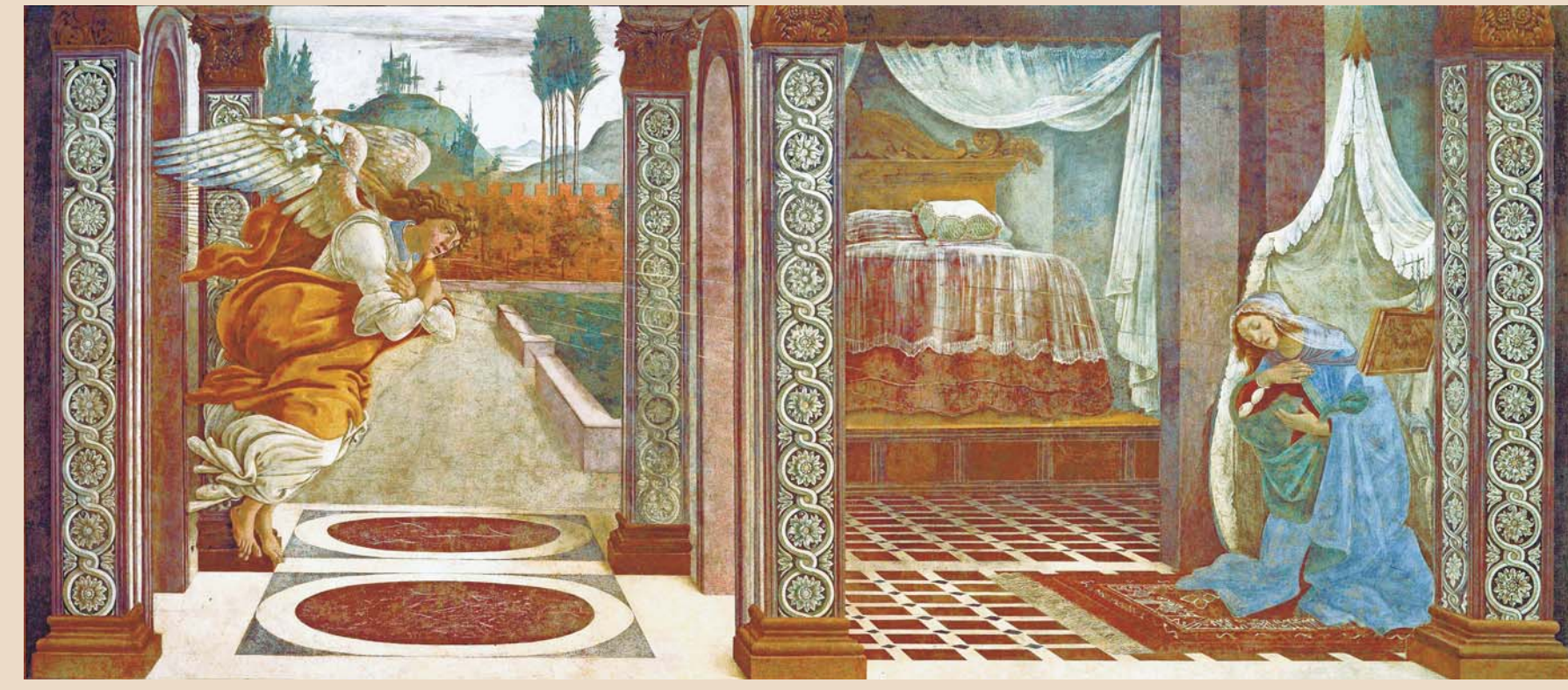


マリアに大天使は告げた。
「あなたは神の子を宿した」
パレスチナのナザレという町に住む娘のマリアのところに大天使ガブリエルがやって来て「あなたは神の子を宿しました」と告げる

アトリビュート 発見！
魚を持っている→敬虔なユダヤ人・トビトの息子トビアス

絵で見る
聖書のお話

絵を見ながら聖書のお話を見てみよう。マリアがイエスを身ごもり、イエスが誕生して祝福を受けるまでです。



横幅**555**センチメートル

ボッティチェリ
最盛期の大作
「受胎告知」

サンドロ・ボッティチェリ
「受胎告知」
1481年
243×555センチ
フィレンツェ、ウフィツィ美術館
© Gabinetto Fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze

アトリビュート 発見！
ユリの花→マリアを象徴

大天使ガブリエルが持つユリの花は「マドンナリリー(聖母のユリ)」。地中海の東側が原産の花だよ。受胎告知の時期は冬で、本当は夏の花のユリが咲いているはずはないんだ。純白で美しく高さ1メートル以上もあるユリだから、マリアを象徴するものとして絵の中に描かれるようになったんだ。

© Gabinetto Fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze



三博士は、マギといってマジシャン(手品師)の語源にもなっているんだよ。当時は占星術を扱うなんて魔法使いのように見えたんだろうね。
この絵には、その場にいるはずのないメデイチ家のゴジモ・イル・ベッキオ(左側にいる横向きの男性)が描かれているよ。

東方三博士がやってきた
神の子が生まれたことを知らせるベツレヘムの星に導かれて、ヨーロッパ、アジア、アフリカ大陸からやって来た3人の博士。東方三博士。イエスを拝み、黄金と乳香と没薬(樹脂)できた薬を贈る

ゴジモ・ロッセッリ
「東方三博士の礼拝」
1470年ごろ
101×217センチ
フィレンツェ、ウフィツィ美術館



誰か来るよ
右奥に人影が……
「東方三博士」だ！



動物がいる!?
出産に立ち会ったのは、ロバとウシでした。



小さい子は誰?
マリアとイエスの間にいる小さい子。「毛皮の衣に十字架」。そう「洗礼者聖ヨハネ」だ。ヨハネはイエスの半年前に生まれた親戚なんだよ。



イエス誕生！
メリークリスマスマス。ここは粗末な小屋。生まれたイエスは、かいたおけに寝かされました。出産したマリアが、神の子イエスを拝む

サンドロ・ボッティチェリ
「キリストの降誕」
1473~1475年
161.3×137.3センチ
アメリカ・サウスカロライナ州、
コロンビア美術館

Gift of the Samuel H. Kress Foundation, CMA 1954.29

Money and Beauty

Botticelli and the Renaissance in Florence



■フィレンツェ

当時のフィレンツェは、独立した共和国。ポッティチェリは、システム礼拝堂の壁画を描くためにローマに行った以外、人生のほとんどをここで過ごしました。現在フィレンツェには、メディチ家のコレクションを主に展示しているウフィツィ美術館があります。ポッティチェリの作品が多数を占める「ポッティチェリの間」には「ビーナスの誕生」や「プリマベラ（春）」があることでも有名です。

■年表 ★印はポッティチェリに関係するものです

1252年	フィオーリーノ金貨製造開始
1410年	メディチ家、法王庁取引銀行となる
45年	★ポッティチェリ誕生
52年	レオナルド・ダビンチ誕生
64年	★19歳ごろ、フィリッポ・リッピの工房に入門
67年	★ベロッキオの工房に参加
72年	★27歳ごろ、独立
75年	ミケランジェロ誕生
81年	★36歳ごろ、システーナ礼拝堂（バチカン市国）の壁画制作
94年	メディチ家、フィレンツェを追放される
1510年	★65か66歳没

「ポッティチェリとルネサンス — フィレンツェの富と美」
 ■会期 3月21日～6月28日（4月13日、20日のみ休館）
 ■開館時間 10時～19時（入館は18時半まで）金・土曜日は21時まで（入館は20時半まで）
 ■会場 Bunkamura ザ・ミュージアム（東京都渋谷区）
 ■主催 毎日新聞社、Bunkamura、NHK、NHKプロモーション
 ■入館料 一般1500円、大学・高校生1000円、中学・小学生700円
 ■問い合わせ 03・5777・8600（ハローダイヤル）
 ■公式HP <http://botticelli2015.jp/>

フィレンツェ金融業の繁栄がルネサンス誕生の原動力に



当時のフィレンツェを支えたのは金融業。聖書では、額に汗して働く農業などに比べて、お金を貸して利息を稼ぐことは悪いとされていた。そのためメディチ家は銀行業としてもお金を貸すのではなく、外国のお金と両替することで利益を得ていたんだ。

それでも金融業でお金を稼いだ人たちは、悪いイメージのお金を、美しいもの（芸術）にかえることで、正当化しようとした。こうして多くのお金が芸術に投資されて、ルネサンス芸術が生まれたんだ。

お金を芸術に



マリヌス・ファン・レイメルスヴァーレに基づく模写「高利貸し」1540年ごろ
 100×76センチメートル
 フィレンツェ、スティッベルト博物館
 © Archivio fotografico Museo Stibbert, Firenze

お金のことで頭がいっぱい？

右にいる人の帽子がほどけちゃって、帽子の留め具は机の上に置きっぱなしだね。後ろにある棚もごちゃごちゃしていて、だらしない感じが出ている。悪いお金の稼ぎ方をして、高利貸しを皮肉っぽく描いているんだよ。2人は何を考えているかな？ お金のことで頭がいっぱいかな？

外貨を求めて世界へ～旅のお守り～

外国とお金の交換をするために金融業の人たちは、世界中に旅に出るようになったんだよ。でもこの時代の旅は、危険を伴うし命がけだった。だからお守りとして、こういう絵が描かれるようになったんだ。

この絵は、聖書に出てくるトビト記の場面。目が見えなくなった父親の代わりにお金を返してもらいに旅に出るトビアス。旅の安全を守る守護天使ラファエルと一緒に旅をして守ってくれたんだね。

飼い犬も一緒に旅をしたんだって。絵の上にある紋章は、注文主のもので、誰のものか分かるようにしてたんだ。



フランチェスコ・ポッティチーニ「大天使ラファエルとトビアス」1485年ごろ
 156×89センチメートル
 フィレンツェ文化財特別監督局
 © Gabinetto Fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze



聖と美を彩る金貨の額縁

額縁を見ると金貨の模様があるんだ。両替商組合の紋章を連想させることから、組合本部に飾られていたのかもって考えられているんだよ。

サンドロ・ポッティチェリ「ケルビムを伴う聖母子」1470年ごろ
 120×66センチメートル
 フィレンツェ、ウフィツィ美術館
 © Gabinetto Fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze

経済の仕組みの元に

～フィオーリーノ金貨～



1252～1303年、金、直径2センチメートル
 グラッシーナ（フィレンツェ）、アルベルト・ブルスキ・コレクション
 Grassina(Florence), Collezione Alberto Bruschi

1237年にフィレンツェはトスカーナ侯国から独立し、52年にはフィレンツェ造幣局が最初のフィオーリーノ金貨を造ったんだよ。表面にはユリの花（フィレンツェの町の花）、裏面にはフィレンツェの守護聖人洗礼者聖ヨハネの模様があるんだ。きちんと作った金貨で評判が良く、近代の経済の礎を築いたんだよ。

■ナビゲーター
 渋谷 Bunkamura ザ・ミュージアム、上席学芸員、宮澤政男(56)さん
 「ポッティチェリは、若い女性を優雅で清らかに描いていますよ！」

